

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

1つ、よい会社をつくろう
同友会は、ひろく会員の経験と
の自主的近代化と強じんな経
営をめざします。

1つ、家が自主
を吸収し、
力を身に
くろう
企業団体
・政治的
業の経営を守り安定させ、日本
な繁栄をめざします。

1つ、

7 2023
月号

vol.684

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU



第61回定時総会

創立60周年記念式典・記念講演ダイジェスト
2022年度 県方針運動総括
2023年度 運動方針

特集

福岡県中小企業家同友会

 広報情報部
Facebook



[デザインQR]

創立60周年記念式典

2023年5月11日(木)

ホテル日航福岡

人を生かす経営をめざして 「経営指針」共に育つ「地域とともに」

基調報告

「同友会はなぜ人を生かす経営をめざしてきたのか、その歴史、実践、未来」

報告者 中小企業家同友会全国協議会 顧問
株式会社紀之国屋 会長
中村高明氏(のおがた支部)

歴史

戦後、国は鉄鋼・電力・石炭・肥料などの基幹産業(大企業)を重視しました。資本家と労働者の対立の関係にある一方で、中小企業こそが日本経済の主人公との自覚と使命感を持ち、中小企業の存続と発展、社会的地位の向上を訴え、1957年日本中小企業家同友会(現東京中小企業家同友会)が創立されました。

同友会の出発点から「人間尊重の経営を提唱していました。『労使見解』の中に「自主・民主・連帯」の精神が根付きました。

自主…個人の尊厳性の尊重
…無限の可能性

民主…生命の尊厳性の尊重
…平等な人間観
連帯…当てにし当てにされる関係、共に育つ

当社の実践

私は西日本鉄道(株)を39歳で退社して家業を継ぎ、機械機具卸売業、(株)紀之国屋を設立しました。

大企業との格差、従業員との対立に大変苦しんでいたところ、46歳で同友会を紹介してもらい入会しました。同友会で「労使見解」に出会って自分の間違いに気が付いて、人間尊重を企業経営の基本精神とし、可能な限り労働条件の向上を図ると、従業員に宣言しました。
そして、就業規則を整備し、経営理念と従業員と共に行動規範を策定し、合宿をして経営指針をつくり続けてきました。さらには、経理の公開や共同求人・共育の活動を展開、人事評価制度など導入しました。

未来

福岡同友会では、企業づくり・地域づくり・同友会づくりの2030年ビジョンを策定しました。このビジョンを達成し、人間尊重の究極の目的「すべての人が生きる・暮らしを守る人間らしく生きる」の実現をめざしていきます。



実践報告

「経営指針に基づく経営、社員と共に育つ」

報告者 株式会社プロデュース 代表取締役
中原亜希子氏(ひびき支部)



失敗の連続

弊社の経営理念は「明るい挨拶 元気な会社」です。
私は介護事業に携わっているのですが、介護事業は業界的に人材不足です。創業当初、知識が乏しく、さらに優秀な人材の採用ができず、失敗の連続でした。経営は赤字転落して業績は低迷し、離職率が上昇して、求人しても人が集まらない状態でした。負の連鎖でストレスはマックスに達しました。

方向転換

そこで、方向転換することにしました。「二人一人が持っている力や強みに気づき、お互いに高め合う場をつくりたい!」そう強く思いました。
製造業の「カイゼン思想」を導入し、業務の徹底的な見える化を実施しました。予算管理やシフト管理、人材育成に努め、

どんな人でも採用を

細かい業務までもマニュアル化を徹底し、初日からでも働けるようにしました。
他の事業所で断られた人材を積極的に採用することになりました。定年を71歳にし、多種多様な働き方を受け入れて雇用問題を解決することにしました。シングルマザー、障がい者、外国人、元犯罪者、うつ病の人、さらには「くそばあ」と言われても採用しました。治せる自信があったからです。

優先順位の明確化、業務のマニュアル化、細分化、全社員による濃いコミュニケーションであらゆる指標(離職率、新規契約率、人件費率、稼働率・売上など)が向上きに改善されました。
一緒に働きたいと選ばれる会社づくり: こうした「組織づくり」こそ令和時代の中小企業の強みになると確信しています。

実践報告

「強い田舎を創りたい!」

報告者 株式会社アズマ 代表取締役
中島一嘉氏(久留米支部)



地域エネルギー

実家の建築板金業(株)アズマに入社した当時、職人の地位の低さを痛感しました。その後、同友会に入会して「地域に元気がなくなれば、地域の企業元気もなくなる」と考えるようになり、建築板金業、再エネ推進グループ、高気密・高断熱リフォーム、野菜作りの農場を立ち上げました。

エネルギーの「地消地産」

再エネ推進事業に取り組むようにしたところ、八女市のエネルギーの資金約53億円が地域外に流出しているという課題が浮き彫りになりました。
2017年5月、73社の出資により「やめエネルギー(株)」を立ち上げました。エネルギーの地産地消ではなく「地消地産」で、地

強い田舎を

住民対象にワークショップを開催して八女市の好きなところや課題を明らかにしました。本気で地域の未来づくりができるのは地元の人だからです。次代を担う子どもたちのために地域間でつながることが大切です。私は「強い田舎を創りたい!」と強く思っています。
みんなで大きな力を手にして(スイミー大作戦)、地域の未来を切り開いていきます。

今月の表紙 「永年会員表彰(40年)で表彰を受けられた方々」

会歴40年の永年会員表彰で表彰された副島さんと大下さんです。福岡同友会は創立以来、多くの先輩方が同友会運動を発展させてきたおかげで今日があります。これからも後輩会員たちに様々なことをご教示いただきたいと思ひます。

撮影/株式会社ココスイメージ 富谷 正弘(玄海支部)

※写真左から鶴田和寿代表理事(コースイ株)/飯塚支店、副島勲さん(一社)ヒューマンハーバーそんとく塾/南支部、大下英勝さん(新星電機株)/北九州支部



同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

激変の時代、

全社一丸の経営を！

福岡同友会は2022年度運動方針として、以下の5項目を定めて各々「企業づくり」「地域づくり」および「同友会づくり」において活動してきました。

- 1 全社一丸で経営指針の作成・見直しと実践を
- 2 社会・経済活動の激変に対応し先を見据えた経営を
- 3 企業永続のための財務対策・資金手当てに全力を
- 4 企業・雇用・地域を守る
- 5 一人で悩まない・同友会活動を止めない

新型コロナウイルス感染症の拡大が続くなか、各組織において会員同士の創意工夫により支部例会をはじめとした活動を継続し、同友会の学びを続けてきました。

活動の中で大きな変化としては、「人を生かす経営」の浸透を図るため、「労使見解」を学ぶ2回の学習会を開催しました。また、経営指針作成に関しては前半期には、従来通り「あすなろ塾」や「泊3日セミナー」を開催しましたが、後半期は3日間に分けた「分割セミナー」として開催しました。

対外的には、福岡県をはじめとした各自治体、九州経済産業局や福岡財務支局などの国の機関、日本銀行福岡支店や業務提携をしている金融機関、そして報道機関等と意見交換会などを行い、関係強化に努めてきました。

厳しい経営環境の中、福岡同友会創立60周年に向けての取り組みを行いながら、会員増強も期首会勢から1006名増の2306名となって創立60周年記念式典を迎えることができました。以下に、「企業づくり」「地域づくり」「同友会づくり」ごとに総括します。

1. 経営指針を社員と共に作成し、経営指針を軸にした企業づくりの取り組みを

成果

- ◎ あすなろ塾、経営指針作成セミナーの開催により、同友会らしい経営指針の作成を学ぶ場が提供されました。
- ◎ 情勢勉強会が開催され、世界と日本の情勢および厳しい経営環境の予測を学び、経営指針作成・見直しの参考となりました。
- ◎ 経営指針を成文化した企業においては経営者、社員、企業の一定の変革が成果として現れています。
- ◎ 「人を生かす経営」実態調査による経営指針作成の取り組みの主な指標は
 - ・経営指針成文化率 53.0%
 - ・社員と共に策定率 40.7%
 - ・指針書に基づく経営実践率 30.0%
- ◎ 実践に企業変革支援プログラム活用率 7.2%
- ◎ 経営指針の定期的検証率 毎月検証 18.4%、不定期検証 59.5% となっています。

課題

- ◎ あすなろ塾、経営指針作成セミナーへの参加において、支部間の温度差が見られました。
- ◎ 経営指針に関する複数のアンケートの結果より、PDCAの実践が弱いという傾向がみられます。
- ◎ 少数社員の企業に対して経営指針の意義・必要性を伝えることが今後の課題と考えられます。

2. 「労使見解」の正しい理解と「人を生かす経営」の実践を

成果

- ◎ 中小企業家しんぶんで毎回、各地同友会の「人を生かす経営」の取り組み、実践報告が発信され、会内に労使見解への関心が広まりました。
- ◎ 「労使見解」についての学びを求める意欲が高まり、少数ではありますが、支部で「労使見解」の自主的な勉強会が開催されました。
- ◎ 社員との共有の努力、自らの経営姿勢の確立への気づきを得た会員が増え、労使見解の実践への変革が感じられます。

課題

- ◎ 例会等での「人を生かす経営」の取り組み実践報告の事例が少ない現状があります。
- ◎ 継続的に「労使見解」を正しく、深く学ぶ機会を設ける仕組みづくりが必要であると考えられます。
- ◎ 「人を生かす経営」実態調査による「労使見解」の取り組みの指標は
 - ・「労使見解」を知っているか 知っている 59.6% 知らない 40.4%
 - ・聞いたことあるがよくわからない 21.7% 経営者としてどのようにとらえていますか 一度読んで気づきを得た 28.8% ことあることに読み確認している 20.0% よくわからない 33.3% となっています。



3. 企業の存続、発展のために財務対策・資金対策の強化を

成果

- ◎ 経営者基礎講座、経営指針作成セミナーにおいて、決算書の見方、財務対策、利益計画を学ぶ場があり、自助努力の方法を学ぶことができました。
- ◎ 各組織で金融機関や関係機関との意見交換の場が設けられ、信頼関係の強化が図られました。
- ◎ 各行政機関から支援策を会員に発信し、会員企業の資金繰り対策の一助となりました。

課題

- ◎ 多くの企業が先の見通せない中、コロナ対策融資の返済が始まり、窮屈な資金状況になり、経営に支障が出てきた企業もあります。
- ◎ 金融機関において、伴走型金融支援という考え方が進んでおり、その情報を共有し、同友会らしい企業づくりを促進する必要があります。
- ◎ 会員企業が「経営者保証」に関するガイドラインの三要件について知り、三要件を満たす経営に取り組む指針を共有する必要があります。



4. 広い視野で新たな仕事づくりを

成果

- ◎ 同友会の啓発支援運動として専門部会である仕事づくり推進本部の四委員会やIT部会にて、それぞれの分野ごとに、脱炭素や国際交流、地域問題、DX化の取り組みが推進され、さらに支部の例会でも多く取り上げられる機会につながりました。このことで部分的には高い関心を持って、課題解決に取り組む機会が生まれました。
- ◎ 付加価値の創出という点では、多くの企業で取り組みが進められており、経営革新計画の取得や事業再構築補助事業の活用が活発化しました。
- ◎ SDGsへの取り組みはまだ始まりを見ただけの状況ですが、同友会では女性部委員会や環境経営委員会などの専門部会だけに留まらず、支部例会やブロック会等で多くの学ぶ機会が創出され、また同友会2030ビジョンへの関連付けもあり、結果的に多くの会員企業にSDGsへの取り組みが、重要視されるようになりました。

課題

- ◎ 消費動向の変化や多様化など、顧客のニーズを捉えきれず変化に対応する取り組みが遅れている企業が会内にも散見され、同友会としてのさらなる情報発信や啓発活動が求められます。
- ◎ 事業変革やSDGsへの取り組みなど、経営課題を持って同友会で学んでいる会員と、そうでない会員との乖離が進み、個々人の同友会との係わりも多様化しており、ニーズに応じた会活動の進展が望まれます。

5. 働き方改革を推進し、働く環境の改善を

成果

- ◎ 働き方改革については支部例会や委員会活動で部分的であるものの、テーマとして取り上げられるケースが見受けられ、会内企業でも労働環境改善に取り組んでいる状況が伺えます。
- ◎ 働く環境改善が経営課題の優先となるなか、委員会活動や支部による啓発支援で、人材採用や定着率向上を学ぶ機会が図られています。人手不足は深刻化を増しています。
- ◎ 社会的な訴求度合いが高い企業における、D&Iやバリアフリーへの取り組みに関しては、専門部会及び支部活動また、次年度開催される女全交の準備段階における勉強会等で、直接的・間接的に多く取り上げられました。

課題

- ◎ 業務の効率化の前提となる人時生産性の取り組みですが、会員企業ではいまだに限定的であり、実践している企業は少ないものと見られます。また就業規則などの社内規定づくりも、会内で学ぶ場が少なく整備が遅れている企業があり、啓発活動が必要とされます。
- ◎ また活気に満ちた企業づくりの一つである、選択的働き方について学ぶ場がまだ少なく、今後の社会情勢を鑑み会内でも取り扱う必要があります。
- ◎ SDGsにも取り上げられています。ジェンダー平等やD&Iについても、取り組みはまだ少なく浅く、今後とも会内でさらに広く啓発し理解を深める活動が望まれます。

6. 採用と共育の推進、およびBCPの策定を

成果

- ◎ 大きく変化する新卒採用において、共同求人等の専門部会で活動は続けられています。採用実績はまだまだ厳しいものがあります。一方で定着率向上への啓発活動も続けられていますが、離職については企業間で差があるのが実態です。
- ◎ 企業永続化を進める上で重要な事業承継は、専門部会でも継続的に取り扱われており、継承時の課題解決の助力となっています。
- ◎ 昨今の頻発する自然災害等の事象を受け、部分的ではあるもののBCPへの関心が高まる傾向にあり、会内の専門部会等で企業の社会的責任を啓発する活動が見受けられました。

課題

- ◎ 会員企業の採用活動は盛り上がりが見え、Web化が進むなかで、対応する環境づくりが遅れている企業が見られます。また人材流出を抑制するための、企業風土の醸成を学ぶ機会の増加が望まれます。
- ◎ 会員のなかには事業承継問題を自分事とは捉えていない経営者が多くあり、承継問題を理解するに至っておらず、経営労働委員会や青年部連絡会、また他の委員会とも連携を図って、学ぶ対象を広げる対策が望まれます。
- ◎ 会員企業のほとんどの企業で、有事の際の対策が未整備だと見受けられます。BCP策定を含め激変する事象を念頭に置く、定期的な学ぶ場づくりが必要と考えられます。

地域づくり

1. 会員企業は地域を牽引する企業であり、地域になくはない企業であり、同友会は地域社会のリーダーとなる活動を

成果

◎ 地域づくり推進本部の活動を合同で行うことで、地域の問題を課題として捉え、振興条例・情勢認識・景況調査・キャリア教育の各部門で課題について取り組み学ぶことができました。また、会員企業へ発信しました。

課題

◎ 同友会の歴史と理念から地域づくりについて学ぶことが大切であり、会員企業が地域から必要とされるための、地域づくり推進本部の活動としなくてはなりません。その手段が中小企業振興基本条例であり、条例をいかしていくために企業づくり・同友会づくりを含めた総合実践を推進することが必要です。

2. 中小企業憲章の精神、中小企業振興基本条例の意義、中小企業の魅力を広める活動を

成果

◎ 中小企業振興基本条例の意義や中小企業の魅力を発信する事業を行いました。中小企業魅力発信月間大勉強会の実施参加者88名 8月18日(木) 14時~17時30分 リアル&ZOOM「持続可能な地域をどうつくる?」というテーマで開催しました。報告者 堀弘道

福岡県立大学 佐野教授と学生9名

参加した学生から、「こんなに中小企業の方が地域のために頑張っておられるとは知らなかった。こんな中小企業に就職したい」との感想がありました。

課題

◎ まだまだ条例の意義を伝えられていません。中小企業の魅力とは何なのか? 中小企業憲章・中小企業振興基本条例の意義は何か。毎年7月の中小企業魅力発信月間を通じて、同友会会員へ条例の意義、中小企業の魅力を伝え続けることが必要です。

3. 中小企業振興基本条例の制定運動や条例を生かした事例を県内へ広める活動を

成果

◎ 地域づくり推進本部にて、他県の先進事例や条例の生かし方を伝え、条例の推進活動を行いました。

課題

◎ 県内空白地域への条例の推進をしましたが、条例を新たに制定することができませんでした。推進本部内でも条例の意義を伝えられませんでした。中心になって、条例制定運動を推進していく会員の学びが必要であると感じています。そもそも条例は何のために必要なかを伝え、空白地域への条例制定を目指します。

4. 行政との関係づくりを行い、福岡県や国に対しての政策要望・提言を行う活動を

成果

◎ 景況調査を四半期ごとに実施しました。

景況分析会議にてまとめ、会員企業や関係機関へ情報を共有し会員企業の指針とできるようにしました。

課題

◎ 9月12日に中同協の松井専務幹事に、情勢認識についての報告をして頂きました。10月20日に、福岡県商工部との意見交換会を行い、中小企業の抱える問題を伝え、お互いの今後への取り組みについて意見を交わしました。

5. 各地域で教育機関との関係づくりを行い、新しいキャリア教育を実施する活動を

成果

◎ キャリア教育を地域づくりからの視点で捉え、持続可能な地域を若者と共につくる新しいキャリア教育に取り組みました。キャリア教育部会を立ち上げ支部を超えた会員で行い、地域づくりの中のキャリア教育について意見交換ができました。

課題

◎ 地域づくり推進本部の中でも新しいキャリア教育の意義を伝えられませんでした。中小企業の維持発展には、

◎ 役員研修大学の開催時期と報告者候補の育成を研修本部で検討していきます。

2. 地区・支部・委員会活動の活性化を

成果

◎ ブロック会の活性化が、支部における学びの推進にもつながることを認識しました。

◎ それぞれの推進本部で、部・委員会の横のつながりや連携を目標に意見交換や実践を行いました。HPの委員会紹介PDFのフォーマットを見直し、より見やすく魅力が伝わるように変更しました。

課題

◎ ブロック会の活性化の重要性を、全支部と共有し意識して取り組むことが重要です。

◎ 部・委員会の具体的な連携のあり方について、引き続き模索して実践します。支部に部・委員会の活動が伝わっておらず、参加者が固定化されています。支部に伝える取り組みが必要です。

3. 「危機の時こそ同友会」「孤独な経営者をなくす」仲間づくりの推進を

2022年度末目標2435名

成果

◎ 期首2200名、期末2306名、純増106名
◎ ブロック会の活性化が、知り合い、学び合い、助けあいにつながり、さらに増強の推進にもつながることを認識しました。全県での同友会を知る会を2回開催し、入会3名の結果につながりました。単独開催する支部が増えました。



4. 会員企業の実態把握と対外広報の強化を

成果

◎ 4半期ごとに実施している景況調査を、6月、9月、12月、3月(予定)で実施し、会員企業の経営状況、経営上の問題点などをまとめ、企業経営と同友会活動に生かすよう提起をしました。中同協企業環境経営センター「コロナ禍における中小企業の金融に関する特別調査」を行いました。

5. 財政の健全化を

成果

◎ 理事会で会費未納者数をお知らせすることにより、未納者が減少しました。

元気な地域が必要です。その元気な地域をつくるために必ず必要なのは、元気な若者です。地域の企業として、この若者たちとどのように関わることが大切ですか。今後は、それぞれの地域で生き残りをかけ、若者の奪い合いが始まります。企業も一緒です。地域づくり推進本部として何をやるべきかが大切です。

6. 21世紀型中小企業づくりで「日本経済ビジョン」の共有を

成果

◎ 「日本経済ビジョン」を参考に今後、「福岡経済ビジョン」を作っていくかなければと提起するに留まっていまいいました。「日本経済ビジョン」の会員への浸透「福岡経済ビジョン」の必要性の協議が必要でした。

同友会づくり

1. 役員育成の強化を

成果

◎ 新会員フォローアップセミナー報告者マニュアルを作成し、報告内容を統一しました。
◎ 3年ぶりに役員研修大学を開催し、23名の参加がありました。
◎ 役員研修大学の参加目標70名に対して23名と半数にも満たず、告知が不十分でした。

6. 事務局機能の強化と職場環境の改善を

成果

◎ 事務局長と毎月、意見交換をしています。
◎ 事務局指針の見直しを行っています。
◎ 代表理事・専務理事・事務局長で今後の事務局の将来像への取り組みを始めました。

7. 災害等への対応の準備を

課題

◎ 今期はできなかったため、来期どの様にするか検討します。

8. 福岡同友会60周年に向けての準備を

成果

◎ 60周年記念総会式典委員会、60周年記念誌編集委員会、記念事業企画委員会、財政部会、第26回女性経営者全国交流会委員会を立ち上げて毎月の会議を行い、確実に企画立案を進めています。
◎ 会内および会外への広報を行い、福岡同友会として全体で盛り上げていき、盛大に行えるように今後の詰めが必要です。

私たちは中小企業をとりまく経営環境は、終息しないコロナ禍や物価高騰、そして労働力不足と人材難といった問題があり、厳しい環境にあります。さらには、人口減少と少子高齢化も益々進行しています。

どの地域にも、輝く中小企業があり、雇用と日々の暮らしを担って地域の経済を支えています。経営者と社員が一体となって事業を行うことで地域を維持し、そこに住む人々が働いて子どもを育てていくことで、地域は存続発展してきました。

今、多くの地域がこれからも持続していかれるかどうか危ぶまれています。中小企業には、地域の問題を自社の課題としてとらえ、地域から必要とされる企業になることが求められています。

2023年度 運動方針

変化を捉え、新たな飛躍へ！

「経営者である以上、いかに環境が厳しくとも、時代の変化に対応して、経営を維持し発展させる必要がある」と労使見解の中で経営者の責任を述べています。今、国際情勢の不安定化やデジタル化の流れで、時代の変化のスピードが速くなるなか、アフターコロナを見据えて、いままです以上に自社の事業見直しが必要となります。

同友会は、日々挑戦し続ける経営者の集まりです。お互いに切磋琢磨しながら、学びそして実践しながら、強靱な企業づくりを進めましょう。

福岡同友会は、創立60周年を迎えました。先人たちの経験に学び、時代の変化を捉え、私たちが掲げた「2030ビジョン」の達成に向けて以下の方針に基づき運動を進めていきます。

重点項目

- 1 労使見解に基づいた、経営指針の作成・見直しと実践を
(2030ビジョン 企業づくり1-1 1-2)
- 2 いかなる環境においても、「真の黒字経営」を
(2030ビジョン 企業づくり1-3 1-4)
- 3 地域を支える中小企業が、地域のインフラとなりえる活動を
(2030ビジョン 地域づくり2-1 2-2)
- 4 仲間を増やし、強い組織づくりを
(2030ビジョン 同友会づくり3-3 3-4 3-5 3-6)

(敬称略・入会年月日順)

永年会員表彰

会歴40年に達した会員(2名)

副島 勲	(一社)ヒューマンハーバーそんとく塾 南
------	----------------------

会歴30年に達した会員(14名)

飯野 泰造	(有)飯野鉄工所	のおがた
伊藤 裕一	伊藤建築設計事務所	中央
新内 一秋	(株)筑紫工業	南
塚本 一明	(株)ドリーム	中央
秋吉 博文	(税)九州パートナーズ	福博

会歴20年に達した会員(38名)

山元 浩二	日本人事経営研究室(株)	東
古賀 匡都	(株)飛鳥	南
光本智恵子	(株)すこやか工房	東
宮木 正則	(有)博多クレーン工業	筑紫
永吉 秀幸	(株)Partner N A.I.P	西
松永 健一	(有)ケーキハウス アン	福友愛
穂坂 昌之	アトラス化成(株)	東
西村 三民	ニシムラ印刷	東
江崎 秀雄	エサキプロデュース	久留米
小川 和雄	アイセル(株)	大牟田
栗原 朋宏	(株)ベストプランニング	久留米
中村 恵子	(株)クリーンシティ	中央
中島 克海	(株)グッド・サポート	福友和

大下 英勝	新星電機(株)	北九州
鐘江 守	東亜染工(株)	りょうちく
吉永 昭子	(株)舟崎薬品	北九州
三溝 直喜	三溝直喜法律事務所	久留米
兼竹 義彦	(有)カネタケ	北九州
曾根田 馨	(株)カクマル	福友愛

高田 英一	富士産機(株)	福友和
久保川保則	ダイヤマシナリーサービス(株)	飯塚
郡 隆文	シグマコンポネート(株)	久留米
池村 健一	(株)くじシステム開発	福友和
柳川 敏昭	(株)ネオ倶楽部	福友和
塚崎ひとみ	(株)Bビーイング	玄海
明石 勝善	(株)きねや	東
下村 明勉	無添加ハウス	北九州
松浦 稔展	(医)吉野こどもクリニック	大牟田
渡辺賢一郎	TCSジャパン福岡(株)	玄海
佐々木 英	佐々木英司法律事務所	飯塚
田中 憲治	田中憲治税理士事務所	久留米
沖牟田龍雄	(有)人形の沖牟田	大牟田

本郷 敏夫	(同)ゴーイング	のおがた
牟田 淳一	牟田鉄工(有)	のおがた
高田 治	銘建産業(株)	玄海
中村 純一	(有)中村薬局	のおがた

岩橋 英世	岩橋法律事務所	南
小山 昌宏	(有)ウインズ	東
今泉 涉	(有)双葉商会	東
吉田 智浩	エコーテクノシステム(有)	北九州
野口 尊理	(株)コーエイ企画	筑紫
濱田 亮子	(有)東部保険事務所	南
小串 広己	(有)ホワイトベース	福博
諏訪原功一郎	諏訪原会計事務所	玄海
田中 秀明	(株)キミエ	東
倉門 幸信	システム・アシスト(有)	博多
牛草 敏夫	(株)みらい	東
田中 正治	TERISS(株)	博多

増強表彰

(敬称略)

支部表彰(会員増強最高の支部)

入会数(支部で紹介いただいた新会員数)	福友愛支部	56名
入会率(入会数を期首会員数で割った数)	福友愛支部	27.7%
純増数(支部で期首より増えた会員数)	福友愛支部	40名
純増率(純増数を期首会員数で割った数)	福友愛支部	19.8%

個人表彰 4名(年間5名以上の新会員の入会推薦をした会員の皆様)

氏名	事業所名	所属支部	推薦数
佐藤 高一	九人プラネット(株)	福友愛支部	9名
川原 史郎	メディカルケア(同)	博多支部	5名
長松 加奈子	レマルク(株)	福友和支部	5名
降旗 美香	(有)Miyamaコーポレーション	福友愛支部	5名

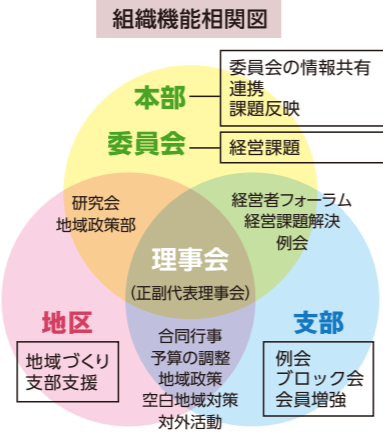
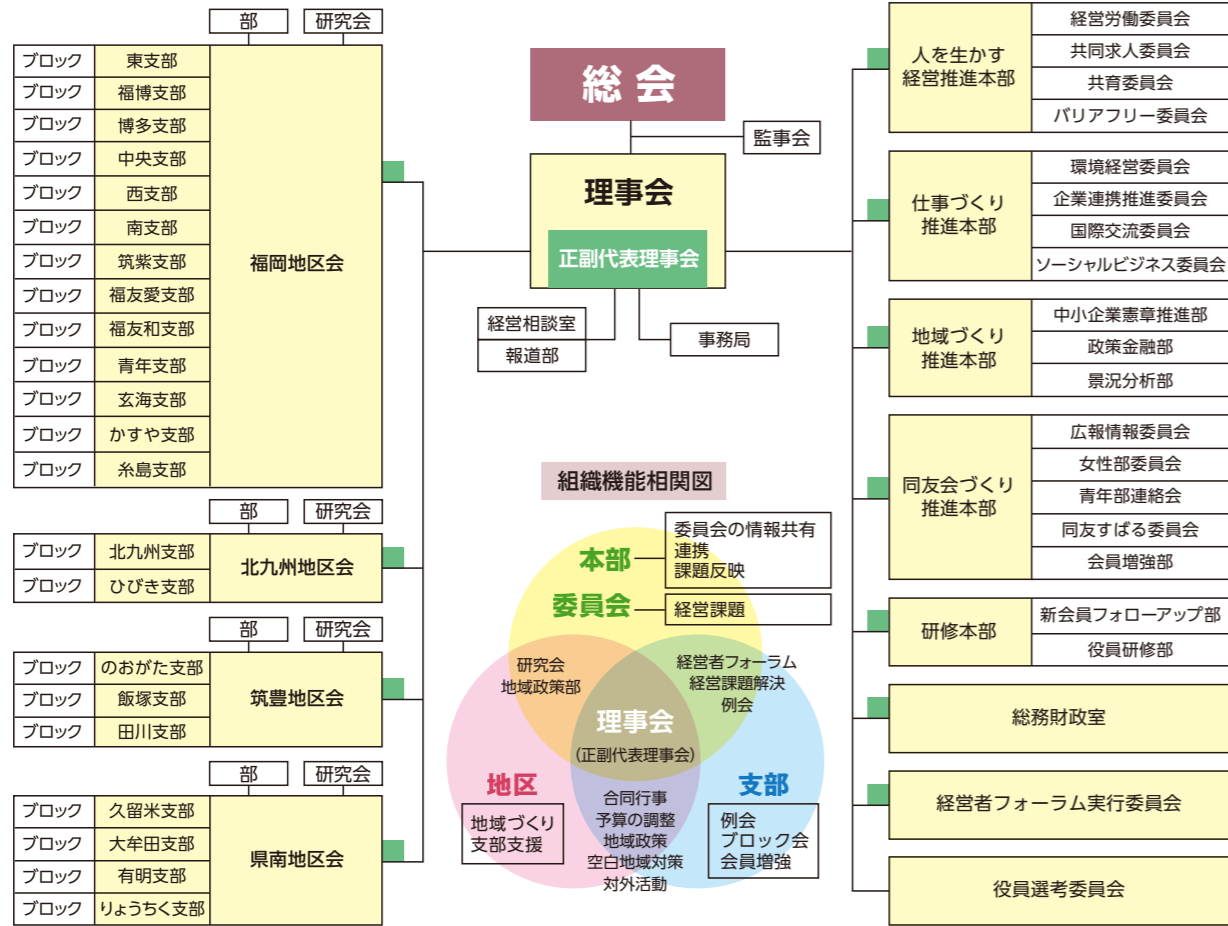
2023年度 役員名簿

(敬称略)

役職	支部	氏名	事業所名
理事	東	新任 井上 明	富士食品(株)
	東	吉浦 茂弘	(株)ティーディーエス
	福博	高谷 幸一	(株)ユニティ
	福博	新任 鈴木 哲也	(株)ヒドレーディング
	博多	新任 宮地 啓一	(株)九秀製本ドットコム
	中央	新任 宮原 三郎	(弁)みらい法律事務所
	西	保坂 秀治	(株)保坂一正塗装店
	西	末竹 哲	(有)日研
	南	中山 英敬	(株)ヒューマンライフ
	南	貞兼 朋記	(株)ルックルック
	南	北原 正	社会保険労務士法人 COMMITMENT
	南	新任 福田 裕聡	(株)スミリオン
	筑紫	新任 平山 芳光	(株)水城自動車
	福友愛	山田 秀樹	日本ビルケア(株)
	福友愛	入江 恵美	(株)オー・エー企画
	福友愛	新任 内田 剛玄	(株)アクセス
	福友和	山崎 龍也	(有)ワールド・テン
	青年	新任 宮地 恭平	(株)九秀製本ドットコム
	玄海	新任 舩元 光二	H.E.S(株)
	かすや	田浦 通	(株)シティーライン
かすや	新任 今林 和文	(有)和白電業	
糸島	仲西 勇人	(株)仲電気工事	
北九州	松木 祥也	(株)松木工務店	

役職	支部	氏名	事業所名
理事	北九州	新任 中谷 文明	(有)ユニバーサルインシュアランス
	ひびき	市丸 皓士	(有)ファイン
	ひびき	小林 正広	(株)上津製製作所
	ひびき	新任 益吉 勇自	北九州商店(株)
	のおがた	小屋根 雄作	(有)丸憲製作所
	のおがた	新任 森 勇馬	直方駅前法律事務所
	飯塚	鶴田 和壽	コースイ(株)
	飯塚	新任 重松 和孝	(有)コンサルティングオフィス
	飯塚	新任 坂田 満	(有)坂田金時堂
	田川	新任 上原 晃一	(株)ユナイテッドファム
	久留米	新任 栗原 朋宏	(株)ベストプランニング
	大牟田	新任 溝脇 潤平	(株)コウ・テック
	有明	濱田 満広	(株)濱田設備
	りょうちく	新任 橋原 憲一	(株)カラーリングファーム
	りょうちく	新任 柿元 千徳	パーシモンズ
	-	川畑 義行	(一社)福岡県中小企業家同友会
-	坂田 いずみ	(一社)福岡県中小企業家同友会	

監事	支部	氏名	事業所名
監事	東	光本 智恵子	(株)すこやか工房
	筑紫	樋口 康治	(株)アイル
	南	新任 大串 和義	大串公認会計士・税理士事務所



企業づくり

- 経営指針の成文化と実践を
 - 経営指針の成文化と実践を推進します。
 - 「労使見解」の継続した学びと、経営指針書の定期的な見直しを推進します。
 - 企業変革支援プログラムの活用を広げ、全社一丸経営を推進します。
 - お互いの違いを認め合い「共に育つ」社風づくりを推進します。
- 働き方改革を推進し、働く環境の改善を
 - 就業規則や社内規定を整備して、活気に満ちた企業風土の確立を推進します。
 - 働き方改革に積極的に取り組み、労働環境の改善を推進します。
 - 付加価値の向上等により収益性を改善し、従業員の所得向上を推進します。
 - 事業承継に向けた準備と後継者育成等により、地域企業の持続発展を推進します。
- 広い視野で新たな仕事づくりを
 - SDGsやGX^(注)を新規事業の機会と捉え、事業領域を見直し新たな可能性を引き出します。
 - DX化を進め生産性を向上させると共に、脱炭素・環境保全にも取り組みます。
 - 収益力を強化し貸借対照表の良化に努め、今後の金融環境の悪化にも対応します。
 - 社会のインフラとしての社会的責任を果たすため、BCPを策定し有事に備えます。

地域づくり

- 中小企業憲章の精神を広める運動を
 - 中小企業憲章 条例推進月間の取り組みを企画し他団体に呼びかけを実施します。
 - 行政・金融機関・教育機関などに広く呼びかけ、憲章の精神を広める運動を推進します。
 - 中小企業憲章を会内で、また社員と共に学ぶなど憲章の精神を深める運動を行います。
- 中小企業振興基本条例の制定と活用で、具体的な成果事例を全県に
 - 中小企業振興基本条例の制定と活用を推進して元気な地域づくりの運動を進めます。
 - 中小企業振興基本条例が制定されている地域は、活用した取り組みを進め、具体的な成果を目指します。
 - 中小企業振興基本条例が制定されていない地域については、「調査・条例・振興会議」一体の取り組みなど先進事例に学び、制定に向けて積極的に取り組みます。

注1 GX(グリーン・トランスフォーメーション)：脱炭素社会の実現に向けた取り組みを通じた経済社会システム全体の革新のこと。2023年度以降の国家戦略に位置付けられる。

行政・金融機関・教育機関の関係づくりと連携を

- 福岡県および県内主要都市に対し憲章の精神に基づいた政策提言を実施し、県内の信用金庫・日本政策金融公庫との業務提携を活かし地域ごとに関係を強化して具体的な取り組み事例をつくり出します。
- 教育機関との関係づくりを行い、新しいキャリア教育を構築します。
- 会員企業の景況調査分析と会内外への発信の強化
 - 四半期ごとの会員景況調査を実施し、分析し、会員の実態を結果レポートにまとめ、会内外に広く広報します。
 - 景況調査の結果レポートの内容を充実させ、分析結果を企業づくりや地域づくりに活かします。
 - 景況調査アンケートの回答率を上げて信頼度を高め、会内外への発信力を強化します。

同友会づくり

- 楽しく学べる増える組織 2023年度末目標 2496名
 - 新会員フォローアップセミナーを開催し、同友会運動への積極的な参加を促します。
 - 経営者基礎講座を開催し、創業・承継間もない経営者、後継者をサポートします。
 - 全県での同友会を知る会を開催し、入会促進を進めます。
 - 入会したら学んで実践できる学びの体系をつくり出します。
 - 同友会運動を体現した語り部が、ブロック会や支部例会において、各地域に学びの輪をつくる体制をつくり出します。
 - 企業づくりの実践事例や活動の情報を外部に定期発信するなど、戦略的広報を行います。
- 次世代を担う役員づくりを
 - 役員研修大学を開催し、次世代を担う役員づくりを進めます。
 - 同友会の歴史と理念を学ぶ重要性が会内で共有され、繰り返し学ぶ環境を整え、語り部を育成します。
 - 支部長研修を開催し、その責任と役割を明確にします。
 - 各組織において先を見据えた組織構想を立て、次の役員候補(経営指針を成文化し成果が出ている会員)を育成します。
- 活動が継続する組織づくりを
 - 現理事研修を開催し、理事としての責任と役割を明確にします。
 - 組織を整備し、各組織が連携し機能的に動く体制づくりをします。(自主・民主・連帯の精神で会運営が進められ、企業づくり、地域づくり、同友会づくりを一体と捉えた活動を推進します)
 - 活動と成果のあらゆる知識と経験をオープンにして、会員が情報を共有できる体制をつくり出します。
 - 各組織の課題が引き継がれ、活動が継続する仕組みをつくり出します。
 - 財政の健全化と事業継続力の強化を推進します。
- やりがいや働きがいを感ずる事務局づくりを
 - やりがいや働きがいを感ずる事務局づくりをすすめる、キャリアに応じた育成計画を実施します。
 - 会員企業の先進事例に学び、人を生かす経営に基づく企業づくりを実践し、組織的な事務局づくりを推進します。

2023年度 第1回 理事会だより

開催日時 2023年5月24日(水) 14時30分～17時03分
 会場 振興センタービル401会議室
 出席数 37名(出席率88.1%) 議長 貞兼 朋記(副代表理事)

○経営者フォーラムについて

第29回経営者フォーラムが下記の通り開催されることとなりました。
 (※ 詳細はe.doyuや広報誌にてご案内致します)
 □ 開催日
 10月16日(月) 仕事づくり推進本部担当の分科会
 10月17日(火) 地域づくり推進本部担当の分科会
 10月27日(金) 同友会づくり推進本部担当の分科会
 10月30日(月) 人を生かす経営推進本部担当の分科会(終了後交流会)
 □ 開催会場：福岡県内会議室、ホテル等

○会員の動き

<経営革新計画承認企業>
 ●2023年3月(県31件/うち同友会会員・企業1件)
 電機樹脂(株) 樋口 敏和 氏(かすや支部)
 テーマ:プラスチック加工の生産性向上による、半導体市場での売り上げ拡大
 ※累計で福岡県全体では9,311件、会員企業は延べ551件。
 ●2023年4月(県19件/うち同友会会員・企業0件)
 ※累計で福岡県全体では9,330件、会員企業は延べ551件。

<表彰>

- 第9回福岡県木造・木質化建築賞
 - 優秀賞 木造の部
 「南畑ピノキオ森のこども園」(那珂川市)
 施工者 (株)大匠建設 井上 真一 氏・倉重 竜祐 氏(ともに博多支部)
 【評価のポイント】 那珂川市産ピノキの床材や小型断面の柱材が利用されたスタイリッシュな園舎である
 - 優秀賞 木質化の部
 「幼保連携型認定こども園 若草幼稚園」(大牟田市)
 施工者 (株)今村組 今村 成剛 氏(大牟田支部)
 【評価のポイント】 子どもたちの記憶に残る色彩と、温かみのある内装木質化が印象的な園舎である
- 令和5年春の褒章 黄綬(業務に精励して衆民の模範である者)
 (株)黒木建設 黒木 義彦 氏(玄海支部)

★理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。

第124回 景況調査ダイジェスト



「景況感はほぼコロナ前にもどる。コロナの影響は脱しつつあるも、人手不足は深刻に。科学的に状況を把握し、次に備えよう。」

調査要領

調査期間 2023年3月16日～2023年4月17日
対象企業 (一社) 福岡県中小企業家同友会 全会員企業 2,263社 (3月16日時点)
調査の方法 会員専用サイト(一部 FAX) にて配信、自計記入

回答企業の概要

回答数 433社の回答(回答率19.1%) (製造業55社、建設業86社、商業流通業47社、サービス業241社 不明4社)
企業規模 0～10名以下 256社、11名～20名以下 63社、21名～50名以下 73社
(従業員数) 51名～100名以下 27社、100名以上 12社、不明 0社
企業の所在地 福岡地区 269社、北九州地区 40社、筑豊地区 64社、県南地区 40社、県外 17社、不明 3社

概況

2023年1月～3月期は全てのDIが上昇し、コロナ前の値を上回る結果となりました。

景況感DI、売上高DI、利益DI、新規受注DI、次期予想DIともポイントが上昇した一方、今回も利益DIのみマイナス域にとどまりました。コロナの影響を脱しつつある様子が伺えますが、依然として売上に利益が伴っていない状況にあります。

業種別では、商業施設や観光地などへの人の増加が感じられるように、商業・流通業、サービス業(対事業所)、サービス業(対個人)は好転が見られました。一方で製造業(生産財)と建設業は厳しいという結果でした。全体的に景況感は戻りつつあるも、業種により温度差があります。

従業員別では、全体としてはプラス域にありますが、従業員規模が小さくなるほどDI値は小さくなる傾向が見られます。特に利益DIに表れています。

経営上の問題点は、原材料高騰、仕入れ単価上昇、人材獲得難、従業員不足が前回と同じく上位四項目となりました。人材獲得難と従業員不足の増加は前回に引き続き上昇し、原材料高騰、価格競争激化、値上げ要請は数値が低下を示しました。製造業(消費財)は原材料等の高騰や仕入れからの値下げ要請が強く、建設業(建築)は熟練技術者の確保難や協力業者の確保難が見られ、建設業の他の分類でも熟練技術者の確保難が見られました。

価格転嫁の状況は、「価格転嫁できていない」と回答した企業は2割を超すとどまり、いまだに多くの企業が価格転嫁が遅れています。

経営指針書の作成・実践と景況感の関係については、「毎月検証している」の景況感DIが伸び、「作成する必要はない」の景況感DIが大幅に下がり、顕著に二極化しました。

景況感はほぼコロナ前にもどるという結果となりましたが、仕事量が増えて、人手不足、人材確保がより大きな課題となってきています。雰囲気に関わることなく、科学的に(数値的な根拠を基に)状況を把握し、人を生かす経営の実践で選ばれる企業づくりを進めましょう。

全体的な特徴

各DIとも改善し、今期景況感はプラスに転じました。利益DIはマイナス域ながら8.5ポイント上昇しました。

項目	第123回	第124回	変動幅
景況感DI	▲4.1	4.0	8.1
売上高DI	8.8	13.0	4.2
利益DI	▲9.5	▲1.0	8.5
新規受注DI	5.8	9.9	4.1
次期予想DI	10.5	20.2	9.7

各DIともコロナ前の2019年10-12月期(第111回調査)のDI値を全て上回る結果となりました。

No.	今期景況判断	業種	従業員数	本社所在地	景況判断理由
1	非常に良い	製造業(消費財)	11名～20名	北九州地区	半導体関連で設備投資が旺盛。新規のプラント建設に必要な資材発注が継続している。
2	非常に良い	商業・流通業	11名～20名	福岡地区	商品の値上げに伴い値上げ前の駆け込み申し込みがあったため。
3	よい	製造業(生産財)	0名～5名	北九州地区	発注量の増加と単価が少し上昇したため。
4	よい	製造業(生産財)	0名～5名	県南地区	コロナ禍で止まっていた仕事に戻ったのと、新規受注が重なった。
5	よい	建設業(建築)	11名～20名	福岡地区	原料値上げによる単価上昇により売上は上がっているものの、完全に価格転嫁できていない。まだ詳細な数値が出ていない。
6	普通	製造業(消費財)	0名～5名	福岡地区	原材料費の高騰が響いている。
7	悪い	製造業(消費財)	11名～20名	福岡地区	商品相場の高騰による売上減。仕入れ原料、資材、光熱費、人件費の上昇に伴う利益減。
8	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	ロシア侵攻に伴う物価高。

業種・従業員規模・地域別の特徴

業種別の動向

全体に各指標とも上昇しました。消費財や商業流通業、サービス業で好転がみられる一方、生産財や建築、土木において悪転がみられます。商業・流通業は利益DIがおおむねプラス域側に突入したのに対し、製造業、建設業は動き方が異なるもののマイナス域にあり、厳しい状況が伺えます。

従業員規模別の動向

全体としてはプラス域にありますが、0～10名、および21～30名の層では利益DIがマイナス域にあります。6～10名の景況感DIの好転は受注DIが、21～30名の好転は売上DIがけん引役とみられますが、0～5名の景況感DIのマイナス域は利益DIがネックとなっていると考えられます。

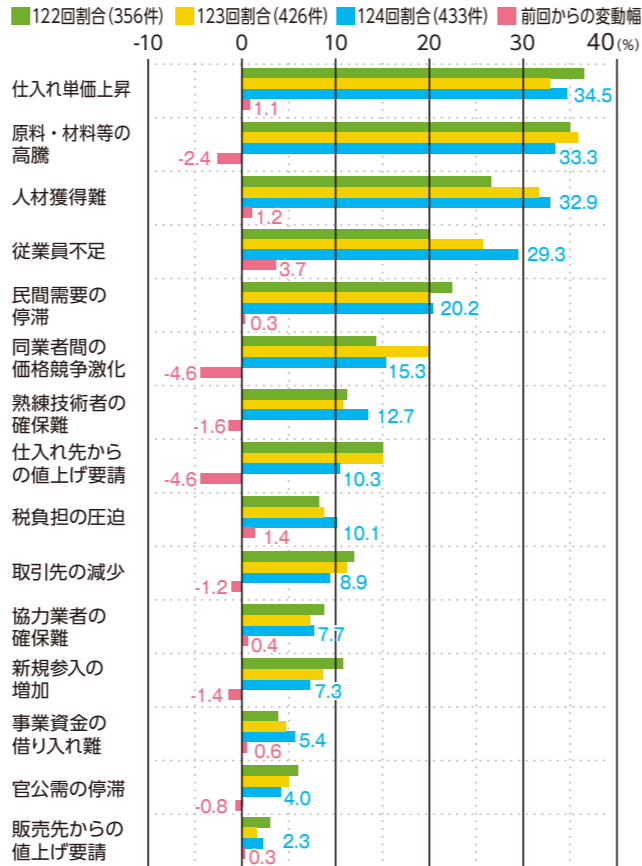
本社地区別の動向

全体としては各指標の改善により景況感DIは好転しています。福岡、北九州は利益DIが二ケタ上昇しましたが、福岡は景況感が好転した一方で北九州は受注DIが悪転し、景況も1ポイント下がっています。筑豊は受注DIが好転し景況感も好転しました。県南は各指標低下したにも関わらず、景況感DIの好転しています。

経営上の問題点

“原材料、仕入れ単価上昇と人材・人手不足が引き続き大きな課題に”。

原材料高騰、仕入れ単価上昇、人材獲得難、従業員不足が上位四項目であった点は前回と同じ結果となりました。人材獲得難と従業員不足の増加は前回に引き続き上昇し、原材料高騰、価格競争激化、値上げ要請は数値が低下しました。売上上昇に伴い、人手不足が深刻になってきています。



主な項目をグラフにしております

業種別経営上の問題点

経営上の問題点を業種別に見ると、製造業(消費財)は原材料等の高騰や仕入れからの値下げ要請が強く、建設業(建築)は熟練技術者の確保難や協力業者の確保難が強く見られ、建設業の他の分類でも熟練技術者の確保難が強く見られました。建設業(土木)では官公需の停滞や従業員不足が見られました。サービス業(対事業所・対個人の双方)では税負担の増加が見られました。

%	全体	製造業(生産財)	製造業(消費財)	建設業(建築)	建設業(土木)	建設業(設備)	商業・流通業	サービス業(対事業所)	サービス業(対個人)
回答件数	426	27	28	37	14	34	47	148	91
仕入れ単価上昇	34.5	40.7	46.4	48.6	21.4	55.9	57.4	18.2	31.9
原料・材料等の高騰	33.3	66.7	75.0	40.5	50.0	61.8	21.3	12.8	34.1
人材獲得難	32.9	29.6	35.7	45.9	21.4	26.5	34.0	31.1	34.1
従業員不足	29.3	33.3	21.4	37.8	50.0	26.5	25.5	30.4	25.3
民間需要の停滞	20.2	44.4	21.4	8.1	21.4	14.7	25.5	16.2	23.1
同業者間の価格競争激化	15.3	3.7	21.4	8.1	7.1	8.8	23.4	16.9	16.5
熟練技術者の確保難	12.7	14.8	10.7	27.0	35.7	32.4	2.1	10.1	5.5
仕入れ先からの値上げ要請	10.3	7.4	28.6	5.4	7.1	11.8	17.0	6.8	9.9
税負担の圧迫	10.1	0.0	3.6	10.8	0.0	2.9	2.1	16.9	12.1
取引先の減少	8.9	18.5	3.6	2.7	0.0	8.8	10.6	10.8	7.7
協力業者確保難	7.7	7.4	3.6	27.0	21.4	14.7	0.0	7.4	1.1
新規参入の増加	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	12.8	9.9
事業資金の借入れ難	5.4	7.4	0.0	5.4	7.1	0.0	6.4	5.4	7.7
官公需の停滞	4.0	3.7	0.0	2.7	21.4	8.8	2.1	4.7	1.1
金利負担の増加	2.3	0.0	0.0	2.7	7.1	2.9	2.1	3.4	1.1
販売先からの値下げ要請	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	4.3	4.1	1.1
大企業進出による競争激化	2.3	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	4.3	0.7	6.6
輸入品による圧迫	0.9	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	2.2
その他	9.6	11.1	3.6	0.0	7.1	5.9	8.5	14.2	9.9

各業種別回答数に対するパーセント 色つきセルは業種別の上位5項目



アドバイザーコメント

九州国際大学現代ビジネス学部 教授 三輪 仁氏

2023年第1期の景況調査では、全ての指標がコロナ禍発生直前である2019年第4期の数値を上回りました。なかでも景況感DIはその一ปีก่อนの2019年第3期以来のプラスとなっています。

各指標は前期や前年同期と比べての現況を表しているもので単純比較することはできませんが、2019年第4期から2020年第2期までの間に景況感DIが-57.7ポイント、売上高DIが-64.9ポイント急落するなどの未曾有の事態から、新型コロナウイルスの5類移行に時期を合わせるかのように約2年半かけて前の水準に戻ったことは、一つの節目を迎えたといえます。

そこで今回は世界を巻き込んだコロナショックが発生する前の2019年を振り返ってみたいと思います。この年の経済における大きな出来事として、2019年10月1日の消費税10%への引き上げが挙げられ、これにともない2019年第4期は前期から多くの項目が低下しています。そもそも2019年を通して景況感DIがプラスとマイナスを繰り返すなどいわゆる“踊り場”状態が続き、毎回の分析会議においても総括の言葉選びに難儀していた記憶があります。

日本経済全体を見ても、アベノミクスの掛け声とともに2012年末より始まった景気拡大も2018年で終焉し、大企業と中小企業、企業と家計の連動性が低下し、世間一般が好景気を実感しにくい構造がさらに浮き彫りになりました。要因探しが盛んになり、中小企業中心の経済構造を再編し

資金繰りについて

資金繰り

カテゴリ	第123回	第124回	増減(%)
余裕あり	51	65	2.5
やや余裕あり	76	87	1.4
普通	172	164	-4.6
やや窮屈	70	84	2.2
窮屈	29	25	-1.4
不明	20	8	0.0
サンプル数	418	433	27.0

資金繰りについて「余裕あり」や「やや余裕あり」と答えた企業が増え、「普通」や「やや窮屈」と答えた企業が減るという結果となり、全体的に改善しているものの、二極化が見られます。

物価上昇に伴う賃上げ

カテゴリ	件数	全体(%)
物価上昇に伴う賃上げを月次資金で行った。行う予定である。	151	34.9
物価上昇に伴う賃上げを一時金で行った。行う予定である。	46	10.6
物価上昇に伴う賃上げを決めていない。	132	30.5
物価上昇に伴う賃上げは行わない。	84	19.4
不明	20	4.6
サンプル数 (%ベース)	433	100

経営指針の作成と実践

経営指針書の作成と実践

カテゴリ	第123回	第124回	増減(%)
作成し実践している	134	129	-2.2
作成しているが実践していない	96	106	1.7
作成に至っていない	161	169	0.7
作成する必要はない	24	24	-0.2
不明	3	5	
サンプル数	418	433	13

経営指針書の検証について

カテゴリ	件数	全体(%)
毎月検証している	42	9.7
毎月ではないが検証している	55	12.7
年に1回は検証している	31	7.2
全く検証していない	3	0.7
不明	302	69.7
サンプル数	433	100

経営指針書の作成と実践の成果では、「作成し、実践している」と回答した企業は景況感DI、利益DIを始め、ほとんどのDI値がその他の回答に対し高い値を示しています。今回の景況調査では全体的にDI値が改善しましたが、「作成する必要はない」のDI値は依然として低い水準となっており、顕著に二極化しています。計画を立てて実践することの重要性を示しています。

8 土 13:00~17:00

60周年記念事業
実行委員会

創立60周年記念事業企画
SDGs勉強会「やるばい!SDGs」
持続可能な社会づくりを社員さん・家族とともに
■ 福岡アイランドシティフォーラム(アイランドアイ)
福岡市東区香椎照葉6-6-6 ☎092-665-0830
■ ①SDGsと企業経営基礎セミナー ②会員企業の実践報告
③SDGsカードゲーム ④SDGsウルトラクイズ
※のおがた支部・飯塚支部・田川支部例会は、SDGs勉強会に振替

11 火 18:00~20:00

ソーシャルビジネス
委員会 7月例会

社会課題やソーシャルビジネスについて考える
(意見交換会)
■ GGソーラービル 福岡市中央区天神3-4-9-10F ☎092-714-0451

14 金 18:45~21:00

ひびき支部
7月例会

せっかく北九州にいるんやけ皿倉山登っときっちゃ
■ 皿倉山展望レストラン「天宮-TEN・KYU-」
北九州市八幡東区大字尾倉 ☎093-581-4939

18 火 19:00~21:30

博多支部
7月納涼例会

新しく今はじめよう!
■ 宮前迎賓館 灯明殿 清道
福岡市博多区川端町1-35 4F ☎092-710-4305

18 火 18:30~20:30

福友和支部
7月例会

社員育成に向き合う経営者の姿とは
~社員と共に成長を続ける会社~
■ アクア博多 福岡市博多区中洲5-3-8-3F ☎092-287-9500
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
■ 柳川 敏昭氏 株式会社ネオ倶楽部 代表取締役 (福友和支部)

18 火 18:30~20:40

玄海支部
7月例会

電子帳簿保存法は紙で保管しても問題ない?!
~電子(デジタル)化でつくる明るい未来~
■ 天神ビル11階9号会議室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
■ 小林 啓太氏 エコー電子工業株式会社 取締役 (玄海支部)

18 火 18:30~21:00

北九州支部
7月例会

中小企業におけるDXとその未来
言葉にとらわれないDX その本質を体験報告から学ぶ
■ KMMビル 第3・4会議室
北九州市小倉北区浅野2-14-1 KMMビル4階 ☎093-511-4101
■ 鈴木 貴人氏 株式会社フリーランス 代表取締役 (博多支部)

18 火 18:30~21:00

有明支部
7月例会

良い経営環境づくりのための最強の武器を持とう!
■ ゲストハウス憩 柳川市柳町68-3 ☎070-8428-6619
■ 西田 朋之氏 株式会社Reクリエイション 代表取締役 (有明支部)
■ 山口 恵子氏 株式会社ファインドカラー・エクス 代表取締役 (中央支部)
■ 柿元 千徳氏 パーシモンズ 代表者 (りょうちく支部)

19 水 18:30~20:30

西支部
7月例会

最先端テクノロジーを駆使した
グローバルな事業戦略と労使見解
■ THE LIVELY 福岡博多 福岡市博多区中洲5-2-18 ☎050-3138-2071
■ 浅尾 秀康氏 株式会社日本プロテック 代表取締役 (西支部)

19 水 18:30~21:00

糸島支部
7月例会

経営指針書を作成し、実践しよう!
~私が気づいた経営者として大切なこと~
■ 山水荘 福岡市西区泉1-5-1 ☎092-806-1212
■ 黒岩 幸子氏
創伸テクニカルサービス株式会社 代表取締役社長 (筑紫支部)

20 木 18:00~21:00

東支部
7月例会

経営を通してみつけた自分たちの在り方
「どう生きるか」よりも「まずはどうありたいのか」
■ WITH THE STYLE FUKUOKA
福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3941
■ 清田 昭氏 株式会社ディーキューブ 代表取締役会長 (東支部)
■ 長浦 言実氏 K24株式会社 代表取締役 (東支部)

20 木 18:30~21:00

中央支部
7月例会

コロナでこの世は大混乱!
~そのとき私はこうして乗り切った~
■ 天神チクモクビル 福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
■ 東 和範氏 株式会社九州トラベルサービス 代表取締役会長 (中央支部)
■ 原本 江美氏 韓国料理 チョゴリ後継者 (中央支部)
■ コーディネーター: 足立 知弘氏 いちご会計事務所 所長 (中央支部)

20 木 18:00~21:00

福博支部
7月例会

福岡市もいずれ消滅可能性都市
~消滅可能性都市で輝く企業~
■ 天神チクモクビル 福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250
■ 富山 博史氏 株式会社カンカングループ 代表取締役副社長 (大牟田支部)

20 木 18:20~20:50

筑紫支部
7月例会

社員を生かす
女性が元気に働き続けられる会社づくり
■ 筑紫野市生涯学習センター
筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535
■ 吉開 ひとみ氏 宮田織物株式会社 代表取締役 (福友和支部)

20 木 18:30~21:00

福友愛支部
7月例会

指針に掲げる企業像を実現する経営者の
意識と行動とは何か?
■ アクア博多 福岡市博多区中洲5-3-8-3F ☎092-287-9500
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
★行事予定記載なし

20 木 19:00~21:00

青年支部
7月例会

同友会青年支部を知ってもらう会
青年異業種交流会「よい会社をつくろう」
「よい経営者になろう」「よい経営環境をつくろう」
■ アクア博多 福岡市博多区中洲5-3-8-3F ☎092-733-1310
■ 荒木 良太郎氏 まるよし食肉株式会社 代表取締役社長 (青年支部)
■ 仲村 和紗氏 株式会社Vita Design 専務取締役 (青年支部)

20 木 18:30~21:00

りょうちく支部
7月例会

地域連携とマーケティング
■ WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
■ 大熊 充氏 うきはの宝株式会社 代表取締役社長 (りょうちく支部)

21 金 18:30~20:30

久留米支部
7月例会

「同友会の学びで 何を手に入れ、何を捨てたのか?」
■ ホテル エスプリ 久留米市東町339 ☎0942-31-1300
■ 久保田 洋氏 有限会社ユー自動車 代表取締役 (大牟田支部)

2023年度事業承継塾第1講
事業承継総論…事業承継計画書の作成
7/22 土 14:00~17:00
■ 電気ビル本館7号会議室
福岡市中央区渡辺通2-1-82 ☎0120-222-084
■ 中村 高明氏 株式会社紀之国屋 会長 (のおがた支部)

22 土 16:00~

大牟田支部
7月例会

大牟田夏祭り総踊り
■ 大牟田夏祭り総踊り会場 大牟田市大正町

31 月 18:30~20:30

共育委員会

共育委員会リーダー共育研修
■ 福岡県中小企業振興センター 202
福岡市博多区吉塚本町9-15-2F

24 月 14:00~17:30

地域づくり推進本部

中小企業魅力発信月間大勉強会
「経営者保証改革プログラムで地域の未来を創造する」
~中小企業と地域を活性化する金融機関との新たな関係づくり~
■ 福岡県中小企業振興センター 2階ホール
福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-686-1234
■ 橋野 永氏 金融庁監督局総務課監督調査室 監督調整官
■ 茨木 衛氏 中小企業庁事業環境部金融課 企画官
■ 中村 高明氏 株式会社紀之国屋 会長 (中協 顧問・のおがた支部)

25 火 18:30~21:00

南支部
7月例会

苦境からの学び、そして実践者へ
~仲間がいるからこそ踏み出せた歩みの数々~
■ アクア博多
福岡市博多区中洲5-3-8 3F ☎092-733-1310
■ 栗山 浩氏 株式会社アーキテックス 代表取締役 (南支部)

25 火 18:30~21:00

企業連携推進委員会
FAST7月例会

■ 福岡県中小企業振興センター 501
福岡市博多区吉塚本町9-15-5F
■ 崎村 正雄氏 あんず合同会社 代表者 (博多支部)

26 水 18:30~21:00

かすや支部
7月例会

企業規模にあわせた組織づくり
期待ギャップはなぜ生まれるのか?
■ 同友会会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センタービル11F
☎092-686-1234
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
■ 辻本 聡氏 アップスマイル税理士法人 代表社員 (福友愛支部)

第189回フォローアップセミナー
7/27 木 18:00~21:00
■ 同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15
福岡県中小企業振興センタービル11F ☎092-686-1234
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)

28 金 18:30~21:00

環境経営委員会

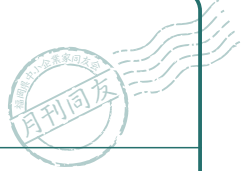
体験して学ぼう!! SDGsカードゲーム勉強会
第1講「2030 SDGs」
■ 同友会会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センタービル11F
☎092-686-1234
■ 宮崎 悠輔氏 株式会社アズマ



会員 Pick up!

APAアワード2023 写真作品部門に初入選

撮影・文 / 株式会社ココスイメージ 富谷 正弘(玄海支部)



今年のAPAアワード2023のテーマは『私の写真』。

新型コロナウイルス感染症が発生したのが3年前。毎日、感染者数の発表、感染対策として国からの様々な要請、外出自粛要請、マスクの着用の義務化、飲食店の営業自粛etc。このコロナ渦における写真表現としてマスク姿の自衛官、警察官、消防官を取材撮影した作品を『THE NEW NORMAL』と云うタイトルの3枚組写真で応募しました。応募写真点数2417点の作品から100点の入選作品が選ばれました。71歳で初入選です。

APAアワードとは、1961年から広告写真の質の向上を目的に作られた公募展です。次世代の広告写真家の登竜門として広告業界で知られるようになり、多くの著名な広告写真家が輩出されています。

APA九州支部作品展が福岡市美術館において9月26日から10月1日まで入選作品『THE NEW NORMAL』を展示いたしますので、ご来場いただきたくご案内いたします。



入選作品:富谷 正弘『THE NEW NORMAL』



APAとは公益社団法人日本広告写真家協会(Japan advertising photographers association)のことで、この法人は職業広告写真家の職能団体として1958年に設立され65年の歴史のある団体です。現在約1000名の会員で構成されています。

あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか?

みなさんの投稿をお待ちしています。

投稿方法 | 郵送、メールいずれも可。
表題に「月刊同友 会員からの投稿」とご記載ください。

テーマ | 環境問題や、社会貢献、例会の様子、地域イベントなど、内容は自由です。

送付先 | 郵送 / 下記「月刊同友」編集部まで
メール / s_asahi@fukuoka.doyu.jp (福岡同友会事務局 旭まで)

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号 福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

[北九州地区センター]

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

[県南地区センター]

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366



[デザインQR]

今月の『月刊同友』はいかがでしたか?

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。よろしければQRコードからアンケートにお答えください。

約4分で回答できます 回答締切 7月31日(月)